



発行所 磐城日日新聞社 福島県磐城市若柳51 電話代表387番 編集人 比佐不二夫 発行人



# つるぎれた小名川木橋事件

## 何等の不法もない

### と、辯明する立花市長

立花不明朗土木行政と一部の痛烈な批判を浴びて物議をかもし上っている磐城市小名川木橋工事は五日工事請負者同市古港渡邊学との間に請負金額十四万六千円で正式契約し、早速着工、今月末完成の予定となつた

が議会は一部の反対を押し切つてこれを可決したものであるが、最近工事化と報導しているがこれに私を故意に傷つけようとするものとしか考へられぬ

### 磐城市政だより

立花市長、村上福社事務所長職責者慰霊祭のため江名岸浦へ中田助後、長瀬議長内郷市制祝賀式参列のため内郷市へ

小名川農業委員会は午前九時から小会議室で、会議規則設定、農地法第三條ノ一許可申請の件等審議

安達郡遊川村々々議員一行七名台併情況視察のため来市、江名第一小学校生徒百名市役所、中央公民館を見学

これを代用するとして二鳥もねらつて着手し然る設備の必要があり

普原土木委員長の見識によるものであり今更何とも云ふ必要はない

架橋の理由が不明だ 小林仁議員 誰が考へても不急不要の小名川橋をこんな急が

充分なる審議の時間を得なかつた、観音橋と感違ひしてと言つたが如き

### 今日の主張

#### 政治への信頼と批判の基盤

小名川木橋工事に因んで 比佐凡風

仮紙いなき民報紙によつて小名川木橋工事は幸次郎橋と命名され再三にわたる報道によつて大きく磐城市政界は勿論原台の話題にまでクロスアップされて来た

まじめなことは今後の磐城市政執行に当り、市民に対し危殆の念を抱かしめるに充分である、法規と條例のみを盾に一方的見解をもつては決して云う所の「圓滿なる施政」は行われぬ、我々は強く市長の反省を要する

この見識によるものであり今更何とも云ふ必要はない



「本日」南風の晴れたり曇つたり、午後には、俄雨が降る

「水」二四、四度 「気温」二六、九度 午前十時現在

「水」二四、四度 「気温」二六、九度 午前十時現在

「水」二四、四度 「気温」二六、九度 午前十時現在

「水」二四、四度 「気温」二六、九度 午前十時現在

吉田石材工業所 磐城駅前 電話五四番

大石テラソー 近代建築の華

小泉金物店 器具 建築資材 大工道具

眼科 小児科 小名濱郵便局前電話七九八番

平けいりん 8月 6日 7日 8日 13日 14日 15日

